

国際会議『13th International Fatigue Congress (FATIGUE 2022⁺)』参加報告

2023年11月13日
修士1年 青木智史

私は、11月6日~11月10日に広島国際会議場で開催された、『13th International Fatigue Congress (FATIGUE 2022⁺)』に参加し、発表を行いました。本会議は、金属疲労に特化した国際会議であり、近年は4年ごとに異なる都市で開催されています。日本での開催は今回が初めてです。今回の会議は、COVID-19の影響による1年の延期はありましたが、世界中から研究者が集まる対面での開催となりました。300件を超える発表が行われるなか、私は、『Surface Engineering』のセッションでオーラルプレゼンテーションを行いました。

私は、『Effect of Residual Stress on Internal Crack Initiation and Propagation of Induction Heated and Quenched AISI 4140 Steel with Different Hardened Layer Depths』の題で発表を行いました。初めての国際会議での発表でしたが、これまで多くの国内学会で発表する機会を頂いていたことから、とてもリラックスして発表に臨むことができました。質疑応答では、質問を聞き返したり、確認したりではありましたが、何とかすべての質問に回答することができました。しかし、自分の考えのすべてを英語で伝えきことは難しく、もどかしさを感じました。今後学会発表の経験を積んでいくなかで、自分の考えをきちんと伝えられるように精進してまいります。最後に、いつもご指導いただいている小茂鳥先生、博士3年羽山さんにこの場を借りて御礼申し上げます。



学会発表の様子



Excursion (宮島)